

水と環境

洗足学園中学校

一年 三輪 桃愛

私の短い人生を振り返ってみると、常に美しい水の流れる川がそばにありました。オーストラリアのパスに住んでいた時、家の近くにスワンリバーという美しい川がありました。海から上ってきたイルカやペリカンなどたくさん生き物が自由に海と川を行き来する、自然にあふれた川でした。また、岐阜県に住んでいた時は、木曾川がそばにありました。木曾川では、近所の友達や兄と一緒にザリガニを捕まえたり、水遊びをして週末をすごしました。しかし、こういった自然いっぱい川や海も今は危険な状態にあります。それだけではなく、そこに住む生き物たちにも影響を及ぼしています。二千二十一年になった今、地球の環境を良くするために、私たちに何ができるのでしょうか。

私が最初に環境問題に興味を持ったのは、イギリスのロンドンに住んでいた時でした。イギリスは日本と比べて、使い捨てプラスチックの問題や海の生物が関係する環境問題に対して、より積極的に取り組んでいました。

私が通っていた現地校でも地理の授業の一環で、カメラマンである友人の父が私の学校を訪れて、環境問題についてスライドを使いながら詳しく、分かりやすく説明してくれました。そのスライドの中で、世界中の海で撮った、プラスチックの袋に絡まったカメの写真や、大量のゴミを食べ物と間違えて食べてしまったイルカの写真を見せてくれました。この時、私は改めて地球の大切な水を汚染していることに気づきました。

また、最近新聞やインターネットで読む記事では、工場などからの産業排水のほかに、台所や風呂、トイレなど日常生活の営みから出される生活排水があり、それらが主に川を汚染しているということを学びました。

水の汚れは、かつては産業排水が主原因でしたが、工場などに対する規制が強化され、排水処理対策の進んだ今日では、生活排水が汚れの大きな原因となっています。これ以上水質を悪化させないために、買い物にマイバ

ッグを持参する、など、日常からできる対策を、世界中の人々が意識し、行っていく必要があります。

必ず大きな変化がおとずれます。

私は、家でポリエチレンラップの代わりにビールラップというプラスチックで作られていないラップを使っています。その上、炭酸水が大好きな私は、以前はプラスチックのボトルに入ったものを購入して飲んでいましたが、数ヶ月前に家で炭酸が作れる機械を購入し、毎日それを使って炭酸水を飲んでいました。他には、いつでもどこでも水筒を持ち歩くようにして、ペットボトルの飲み物を買わないようにしています。

このように、私は私なりの方法で、少しでもプラスチックを排出する量を減らす努力をしています。

産業排水や生活排水、プラスチックなど、さまざまな原因で水は汚染され、生態系の破壊などといった悪影響を世界中に及ぼしています。「持続可能な開発目標（SDGs）」など世界的な水質改善対策も推進されていますが、まず一人一人が水の大切さを意識し、生活の中から水質汚染の原因を減らしていくことが重要だと思えます。ちりも積もれば山となる。一つ一つは大きいことではなくても、世界中の人々が少しずつ努力をしていけば、